

市の木:桑

桑で元気なまちづくり!

第10回

2016(平成28年)

[桑の日 イベント]

桑を楽しむ集い

9月11日(日)

雨天決行

結城市民情報センター前広場

開演 10時~正午 (入場無料)

「桑を楽しむ集い」

10:00 開演

ヨーヨープレゼント

桑の手形「したじき」づくり 10:00~11:30

ゴカリナ演奏・ハーモニカ演奏 10:25~11:00

ダンス ゆうき舞祭オールスターズ 11:05~11:20

紙芝居 わらしべの会 11:25~11:40

カイコのお話し 11:45~12:00

繭の糸繰り体験



手形づくり



手形に・糸の飛躍を押しと、したじきをつくろう!

アツアツ!

無料



主催:NPO法人 結城まちづくり研究会

後援:結城市

お問い合わせ

0296-32-5330 結城観光物産館

0296-33-2298 結城まちづくり研究会 桑田



桑田理事長あいさつ



前場市長あいさつ



桑の手形下敷きつくり



繭の糸繰り体験



まち研コカリナグループ「桑の実」



結城ハーモニカメイツ



ゆうき舞祭りオールスターズ



わらしべの会




カイコの話(まちづくり研究会)

桑で元気なまちづくり!

平成28年9月11日(日)

「桑の日 イベント」

「桑を楽しむ集い」


カイコ って
すごい 虫

カイコ

(蚕) という文字は「天」の「虫」

主催 NPO法人結城まちづくり研究会

カイコって、なに？

カイコは虫だ。

足がらほんある こん虫のなかま

**すかた
どんな姿をしているか、**

みたことあるかな？

白っぽい イモムシみたい！

それとも 白いガ？

まっしろな マユ？ カイコは

**かんぜんへんたい せいちょう
「完全変体」 成長にあわせて、**

**へんしん
変身する ちゅう
こん虫です。**

カイコはだっぴをくりかえして大きくなっていく。

まずは、幼虫のときに、4回。そのあとは、幼虫からサナギになるとき。さらに、羽化もだっぴの一種なので、カイコは一生のうちに6回、だっぴをするんだ。

一匹の成虫から 500個

たまご



幼虫
ようちゆう

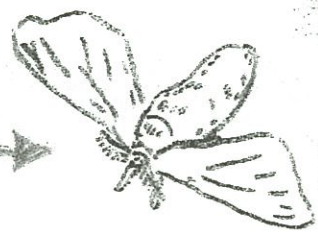


くわは
桑の葉だけをたべる
4回 だっぴする

マユ



成虫 [実物大]



目はあまり
みえない

口はあるけれど
死ぬまで
なにもたべない
のまない

はねはあるけど
とべないよ

マユはたった1本の
糸でできている
このマユから絹の糸を
とるんだよ

カイコは「家畜」
「1頭・2頭」と

カイコが有名なのは
かざえるよ

口からはく「糸」
た!!

その「糸」が「絹」という
せんいです

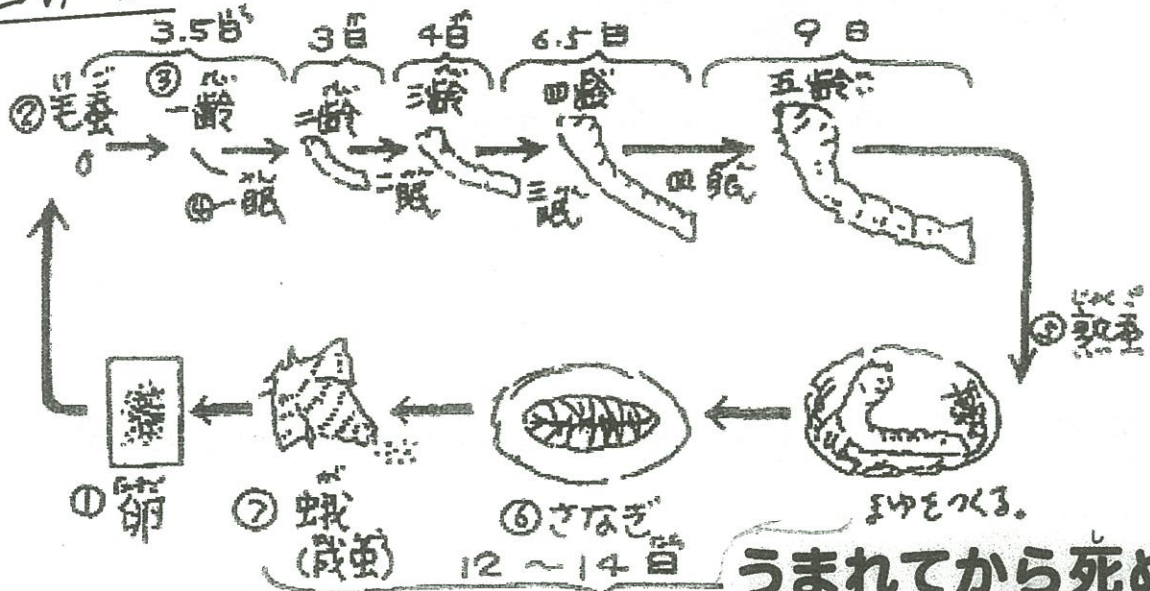
結城つむぎの糸です。

(くわはくは次につづく)

カイトから^{きいと}生糸ができるまで



① カイトの一生



うまれてから死ぬまで、
およそ1か月半~2か月

(温度によって、発育のスピードはかわるよ)

1. たまご (卵)

はじめ黄色く、何日かすると濃い藤色かねずみ色に。1.3mm くらい

のだ円形。「蚕種」とか「種」とか言われる。

2. けご (毛蚕)

たまごからかえったばかりの蚕の幼虫は大きさは3mm くらい。からだ

けがはえて黒く、アリのようだ。これを毛蚕という。2~3日 で毛が落ちたようにな

って全体が黄色っぽくなる。

3. 齢^{れい}

かいこ^{かいこ} は1回目^{かいめ} の脱皮^{だっぴ} までを1齢^{れい} 。2回目^{かいめ} の脱皮^{だっぴ} までを2齢^{れい} 。5齢^{れい} になるとまゆをつくる。

4. 眠^{みん}



あたらしい^{あた} 外皮^{がいひ} を作る間^{つくあいだ}、桑^{くわ} を食べ

ず頭^{あたま} を持ち上げ、止^あ ったままの状態^{とまとま} になる時期^{じょうたい} がある。眠^{じき} っているようにみえるので、これを「眠^{みん}」という。

あたらしい^{あた} 皮^{かわ} ができると古^{ふる} い皮^{かわ} をぬぎすてる。(脱皮^{だっぴ}) 脱皮^{だっぴ} は4回^{かい} おこなわれる。

かいこ^{かいこ} のひふはからだの成長^{せいちよう} に合わせて大^{おお} きくなることがない。大^{おお} きくなってゆく幼虫^{ようちゆう} は、その度^{たび} きつくなったひふをぬぎすてていくんだ。

5. 熟蚕^{じゆくご}

れい^{れい} の末期^{まつき} をいう。このころになると桑^{くわ} を食べなくなり、からだがすきとおる。

たまご^{たまご} からかえって熟蚕^{じゆくご} になるまでおよそ4週間^{しゆうかん} 。その間^{あいだ} にからだの長さ^{ながさ} は25~30倍^{ばい} 。体重^{たいじゆう} はなんと1万倍^{まんばい} になる。

6. さなぎ

じゆくご ふつかかんやす ^{いと} 休 みなく糸 ^{ふつか} をはいてまゆをつくり、さらに2日 ^{ふつか} ほどたつとま
ゆの中 ^{なか} で脱皮 ^{だっぴ} してさなぎになる。

まゆを振 ^ふ ってみてカラカラと手 ^て ごたえがあつたら、さなぎになった証拠 ^{しょうこ} だ。

7. 成虫 ^{せいちゆう}

さなぎになって2週間 ^{しゅうかん} くらいで、大人 ^{おとな} になってまゆから出 ^で てくる。

でも、長 ^{なが} い間 ^{あいだ} 人間 ^{にんげん} に飼 ^か いならされてきた蚕 ^{かいこ} は、羽 ^{はね} があつても飛 ^と べなく
なっているし、口 ^{くち} も退化 ^{たいか} している。

だから、交尾 ^{こうび} して卵 ^{たまご} を産 ^う んだあとは何 ^{なに} も食 ^た べないまま、1週間 ^{しゅうかん} ほどで死 ^し ん
でしまうんだ。



ゆうがた ^{よあ} から夜明 ^{やす} けにかけ、めすは休 ^こ むひまもなく500個 ^{たまご} もの卵 ^う を産 ^う みつづけ
る。

豆知識

- * まゆからきぬ糸とるために、カイコを育てることを「^{ようさん}養蚕」と言います。
(人との生活に利用するためにカイコを飼うこと)
 - * 養蚕は5000年前に中国で始まり、やがて世界各地に広がりました。
東南アジアやインドには、1500年から1900年ほど前に、
日本の養蚕は1800年ほど前に始まったと言われています。
 - * 1998年4月(18年前) ^{さんしぎょうほう}蚕糸業法が廃止されるまでは、蚕業試験場な
どの研究機関や、品種を管理し卵を販売する蚕種業以外は、カイコを交尾
させて卵をとることや、卵からの幼虫の飼食が禁止されていました。
(よいマユをとるために品種改良をし、卵が管理されてきた)
 - * カイコが全滅する病気「微粒子病」
 - * 風穴(ふうけつ) 山の中にある1年を通して冷たい風が吹き出す場所。
(カイコのたまごの保存に利用されていました。)
長野県安曇野の近く稲核(いねこき)地方にある。
詳しくは(書籍 蚕の城 馬場明子著 未知谷発行)
 - * カイコは絹糸腺(けんしせん)から糸を吐き出さないとサナギになれません。
マユ1ヶから出る糸の長さは約1,500メートルと言われている。
おおよそ着物表地1着分(1反)は約2,000~2,700個のまゆ、食べた桑の
葉は70~90キログラムと言われている。
 - * マユは天敵やしめり氣、かび、紫外線から幼虫の体を守るシェルター
- カイコの未来
- * カイコのタンパク質からは、新しい繊維以外に、化粧品や食品用のタンパ
ク質などがつくられています。カイコの遺伝子組み換えにより、軽くしな
やかで強い糸が作り出せるようになり、手術用の縫合糸、^{ほうごうし}義手、義足、
腱、人工血管、などさまざまな用途に使われていくでしょう。

以上

結城市のシンボル

市の木 「^{くわ}桑」

結城つむぎ 養蚕業（カイコ）に深い関係があります。
桑は春の新芽の吹きだし時は目にしみとおるような新緑の美しさ
を見せます。

昭和55年11月10日 制定

市の花は「ユリ」

ユリの花は純^{じゆん}日本的ですてきな^{かお}香り^{たの}を楽しめます。

昭和55年11月10日 制定

カイコの糸からできる、結城つむぎは日本^{さいこ}最古^{れきし}の歴史を持つ
つむぎおりもの
紬織物です。結城つむぎは、^{すべ}全ての^{せいさくこうてい}製作工程が手作業で行われま
す。その中で「糸つむぎ」^{かすり}「^{じはた}緋くくり」^{じはた}「地機織り」の3工程は、
1956（昭和31）年に国の^{じゅうようむけいぶんかざい}重要無形文化財に指定されました。
また、世界に^{ほこ}誇る日本の^{わざ}技として、2010（平成22）年に
ユネスコ無形文化遺産^{いさん}にも登録^{とうろく}されています。